

# 地域ぐるみで取り組む鳥獣被害 対策に関する研修会

～ 長野県の取組みについて ～

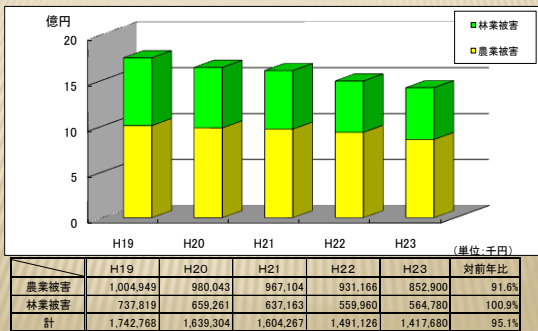
発表者

長野県 林務部 野生鳥獣対策室 三村徳義

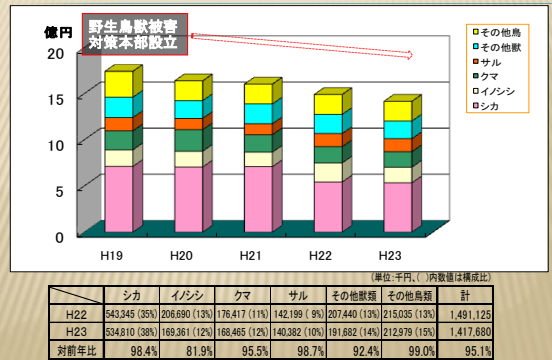
## 目次

- 1 長野県の野生鳥獣の現状
- 2 野生鳥獣に負けない集落づくり取組経過
- 3 長野県第11次鳥獣保護事業計画  
(捕獲許可制度の改正内容)
- 4 第11次鳥獣保護事業計画に沿った新規事業
- 5 集落ぐるみの捕獲対策事例紹介(松本市)
- 6 今後の展開

## 1 長野県における農林業被害の現状

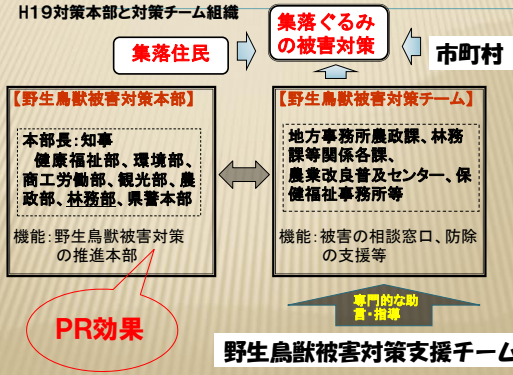


## 加害鳥獣別被害の状況

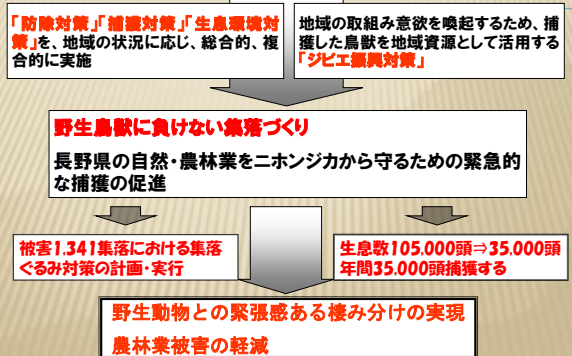


## 2 野生鳥獣に負けない集落づくり取組経過

H19対策本部と対策チーム組織



## 長野県野生鳥獣被害対策基本方針



## 野生鳥獣に負けない集落づくり実施状況

H19からH23の5年間で**1,341集落**全てへの支援は実施

山林と集落を分ける**鳥獣被害防止柵**の設置が進む<743km、553集落>



猟友会員が減少する中で、集落ぐるみでの捕獲対策が課題

**第11次基本指針 <補助者>**

## 3 第11次鳥獣保護事業計画（長野県）

環境省 基本指針 → **捕獲隊の編成**



長野県 第11計画  
<捕獲体制の整備>

**捕獲班（従来）**

**広域捕獲隊**

**集落等捕獲隊**

## 捕獲班（従来の猟友会による捕獲体制）

- ・捕獲猟法に応じた狩猟免許所持者
- ・代表者の指揮で、組織的に捕獲する
- ・単独捕獲は行わない

代表者

わな

網

銃器

班員



一般社団法人 長野県猟友会有害鳥獣捕獲協力基準

## 集落等捕獲隊（集落ぐるみの捕獲体制）

止め刺し

わな設置



わな点検・見回

わな設置補助

止め刺し補助

猟友会  
(指導者)

通報

集落  
(補助者)

補助者は、行政機関等が実施する講習会の受講が必須

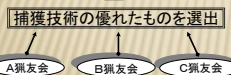
## 捕獲許可基準等一覧

	捕獲班	集落等捕獲隊
捕獲方法	銃器、網、わな	網、わな
捕獲期間	登録を受けていない者が従事者となる場合は狩猟期間は不可	年間を通じて可能
狩猟免許	必要	指導者は必要（補助者不要）
狩猟登録	任意	指導者は必要
損害賠償	必要	指導者は必要、補助者は自損必要
従事者選任	猟友会と協議必要	補助者は捕獲申請地域の集落住民
講習会受講	必要	必要
その他要件		補助者に対する自損保険加入
従事者証	従事者各人に交付	集落等捕獲隊補助者名簿を添付した従事者証を指導者に交付する。

## 4 第11次鳥獣保護事業計画に沿った新規事業

### 広域捕獲隊

高生息密度地域等での集中的かつ効率的な捕獲を実施するため、県下10箇所「広域捕獲隊」を編成

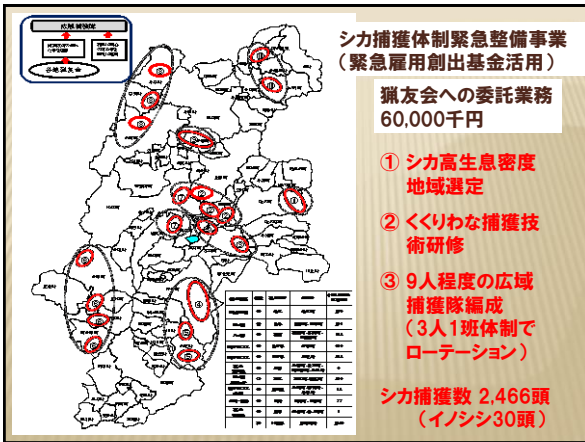


猟友会の縄張り意識解消

長野県ハンター120人雇用



密集地へ重点派遣



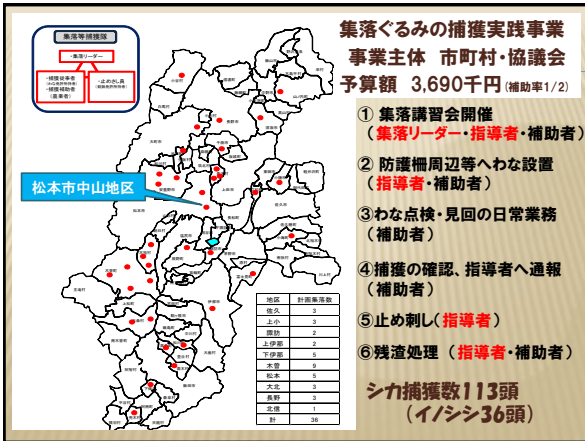
### 第11次鳥獣保護事業計画に沿った新規事業

#### 集落等捕獲隊

捕獲隊員内に続々  
人手増え作業しやすく  
訓練もすすんで協力可能

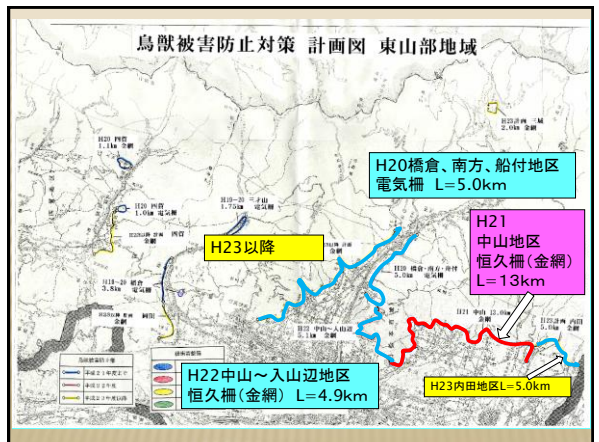
被害防止柵を設置した集落等において「集落ぐるみによる捕獲対策」を普及・推進

野生鳥獣被害対策チームの支援活動



### 中山地区（中山集落）の取組み

- ・平成21年度に実施
- ・主体 中山地区有害鳥獣対策協議会
- ・町会役員、農家組合役員、農業委員などが中心となり、いち早く地権者・関係者の同意を短期間に集約・実施
- ・防護柵 L=13km 事業費50,000千円 (耕作放棄地再生利用緊急対策事業)
- ・設置作業は地域住民による (労務提供方式) 延べ1,886人が参加







### H22年度

- × 捕獲資材（くくりワナ）の購入
- × 捕獲免許の取得に向けた事前講習（9名がワナ免許取得）
- × 捕獲の技術講習会（35名参加）

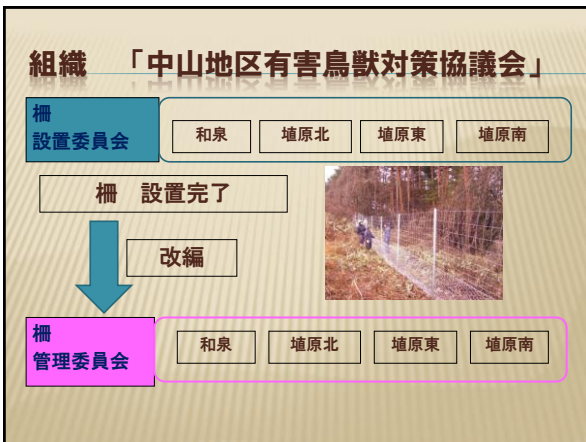


### 集落等捕獲隊導入の経過

導入の理由

- 1 侵入防止柵の里側に残る個体駆除による農作物被害の軽減
- 2 シカ飛び出しによる交通事故の防止

H24年度、地域で捕獲隊の結成を検討



### 集落等捕獲隊の導入

- ・ 侵入防止柵の設置によりシカの交通事故は減少したが、柵の内側に残る個体を含めて、猟友会だけでなく、中山集落としても捕獲を推進することとなった。
- （5月 協議会役員会で了解）
- ・ 5月24日 協議会総会にて了承
- ・ H24年度 管理委員会役員を中心に4地区からメンバーを選出⇒「集落等捕獲隊」
- 捕獲隊隊長 今井氏
- ・ 講習会后 指導者 8名 補助者 25名

## 集落捕獲隊設置に向けた講習会



## 捕獲実施

- ・各地区において、くくりわなを設置
- ・各地区の補助者が見回り、点検
- ・捕獲 ⇒ 指導者に連絡
- ・指導者は、対応できる者を調整（止め刺し、埋設ほか）
- ・個体により、猟友会員（銃器所持者）にも連絡・調整
- ・止め刺し、確保 ⇒ 肉自家消費、残渣埋設

## 捕獲実施（9月10日 和泉地区）



里側  
山側  
中山地区（和泉地区）  
獣害侵入防止柵（里側から山側を見る）



「くくりわな」により捕獲されたニホンジカ（メス）



集落捕獲隊（補助者）がワナの見回りをを行い、個体が捕獲されると地区（町会）毎に関係者に連絡をとり、捕獲後の処理を行う。



猟友会員による止め刺し  
オスジカ等ワナ会員による「止めさし」が困難な場合に、銃器使用を依頼





止め刺しされた個体は、必要に応じて肉を自家消費している。



残渣については、現地近くの山林に穴を掘り埋設する。

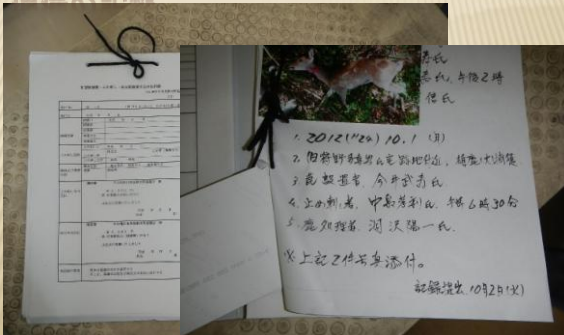


補助員の協力により捕獲個体の残渣を埋設



残渣埋設後は、野生獣の掘り起こしを防ぐため、地上部を侵入防止柵の余ったネット・ベグ、置き石で固定している。

## 捕獲の記録



## 平成24年度 捕獲実績 (9月末現在)

	和泉	壇原北	壇原東	壇原南	計(単位:頭)
4月	1				1
5月	3	2	2	4	11
6月	1	3		6	10
7月	3	1	1	2	7
8月		1			1
9月	1	1			2
計	9	8	3	12	32
(再捕) 里側		8	3	3	14
山側	9			9	18
(再捕) ♂	5	1	1	3	10
♀	4	7	2	9	22

## H23・24年度 シカ捕獲数対比

	駒馬		増原北		増原東		増原南		合計		山側		尾側	
	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
4月		2							2		2			
5月		2		2		2		4		10				10
6月		1		3				6		10		7		3
7月	1	3	1	1		1	1	2	3	7	1	6	2	2
8月			1	1	1				3	1			3	1
9月		1	1	1				3	4	2		1	4	1
10月			1				1		2	0	2			
11月	1								1	0	1			
12月	1								1	0	1			
1月	1								1	0	1			
2月	3		2						5	0	4		1	
3月	4		1						5	0	4		1	
計	11	9	7	6	1	3	6	12	28	32	14	15	11	17
♂	3	5	3	1	1	1	3	4	10	11				
♀	8	4	4	7		2	3	8	18	21				

## 課題等

- 1 防止柵扉部からの獣の侵入（開閉の徹底）
- 2 柵の維持管理（弱点部の解消、補修）
- 3 柵の内側に残る個体捕獲（効率的捕獲）
- 4 ジビエの有効活用

## 集落等捕獲隊に携わっての感想 （集落リーダー 今井さん）

- 1 1年目にしては良好な活動
- 2 猟友会員と集落等捕獲隊の関係は良好
- 3 捕獲従事者は技術の研鑽を
- 4 さらなる充実を目指す



## 6 今後の展開（長野県）

- ☆ くくりわなの錯誤捕獲・・・カモシカ、クマ  
⇒ 罠いわな等による捕獲  
⇒ クマが逃げれるくくりわな開発
- ☆ 安全な止め刺し方法の実証・普及  
⇒ 電殺器による止め刺し
- ☆ 集落等捕獲隊の発展  
⇒ 林業事業体等が補助者となる体制に発展  
・・・シカ捕獲促進

ご静聴ありがとうございました